

# さかいまち 議会だより

No. 189

令和元年11月1日発行

編集発行・茨城県境町議会  
広報編集委員会  
〒306-0495 境町391-1  
TEL. 0280-81-1316  
FAX. 0280-87-5873  
ホームページアドレス  
<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>

茨城国体デモンストレーションスポーツ少年軟式  
野球大会が境町において盛大に開催されました！



## 目次

第3回臨時会及び

第3回定例会議決事項 …… P2～5

一般質問…………… P6～7

議会活動…………… P8



茨城国体の成功を祈念して、町独自の国体  
ポロシャツを着用し本会議を開催しました。

# 令和元年 第3回臨時会

8月9日（1日間の会期）

議案番号	議案名	議決年月日	議決結果
議案第40号	工事請負契約の締結について	令和元年8月9日	即日原案可決

## 補正予算関係

会 計	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計	127億1,437万2,000円	8億618万3,000円	135億2,055万5,000円

# 令和元年 第3回定例会

9月5日～9月12日（8日間の会期）

9月5日から12日までの8日間の会期で開催され、報告3件、平成30年度決算認定8件、条例8件、補正予算6件、その他7件の議案が提出され原案のとおり可決・認定されました。

また、陳情については、継続審査となりました。

## 決算特別委員会報告

開会初日（9月5日）本会議に提案された平成30年度境町一般会計及び特別会計並びに水道事業会計の決算認定については、委員10名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、9月10日・11日に開催され、慎重に審査をした結果いづれの会計とも認定すべきものと決定し、9月12日の本会議において委員長報告のとおり全会一致をもって認定されました。



決算特別委員会を進行する  
渡邊 昇 委員長

## 監査委員決算審査報告

5月23日（木）・8月26日（月）に、平成30年度境町一般会計及び特別会計6件並びに水道事業会計についての審査を行い、その結果次のとおり報告がありました。

境町監査委員 山本 隆行  
境町監査委員 須藤 信吉

### ○一般会計

歳入財源は、町税収入においては前年度並みであるが、ふるさとづくり寄付金、企業版ふるさとづくり寄付金、基金からの繰入金が増となり、これらの財源を活用した施策・事業を効果的に実施した結果であることが認められる。

歳出については、国・県補助金、基金等の財源を組み合わせ、極力町の負担を軽減する取組が伺え、順調に執行され、魅力あふれる町づくりのための事業を展開して行財政運営に務められたことが確認できる。

### ○特別会計

独立採算制の原則に則って財源確保のための徴収率向上に務められた。

国民健康保険事業については国保加入者数、国保税収入が減となったものの、保険者努力支援金



等の獲得により概ね順調に業務が遂行出来ていることを確認できる。介護保険事業については、地域支援事業交付金等を活用した介護予防事業を実施して、給付費の削減に努め基金の積立を行うなど、順調に業務が遂行出来ていることが確認できる。

下水道事業や農業集落排水事業については、処理場等の老朽化に伴い整備件数の増加が予想されることから処理施設の最適整備構想化計画を策定し、効率的な整備に努めていただきたい。

今後の行財政運営に当たっては、より効果的かつ効率的な実施に務め、多様化している住民ニーズや社会情勢に順応した事業等を計画的に実施していくよう望むものである。

水道事業では、人口減少に伴う収益減が予想されるなか、老朽化した浄水設備の更新など解決すべき問題は山積しており、こうした状況下において安心して利用できる水道水の供給を持続できるように、会計の外部公会計化や老朽化に対応するための更新計画及びこれに要する費用等を明記した経営戦略計画の策定等を要望する。

## 平成30年度 各種会計決算状況

### 一般会計

#### 歳入

#### 歳出

町税	35億746万9,137円
地方譲与税	1億2,995万5,000円
利子割交付金	446万1,000円
配当割交付金	1,019万6,000円
株式等譲渡所得割交付金	880万円
地方消費税交付金	4億5,586万6,000円
ゴルフ場利用税交付金	327万4,460円
自動車取得税交付金	3,565万2,000円
地方特例交付金	1,672万5,000円
地方交付税	15億2,941万4,000円
交通安全対策特別交付金	291万1,000円
分担金及び負担金	1億6,444万8,000円
使用料及び手数料	9,967万3,549円
国庫支出金	12億2,549万9,504円
県支出金	8億1,406万5,041円
財産収入	649万2,278円
寄付金	64億553万3,334円
繰入金	53億1,460万2,382円
繰越金	3億6,866万5,421円
諸収入	7,676万9,785円
町債	7億7,779万7,000円
計	209億5,826万9,891円

議会費	1億922万4,455円
総務費	60億6,311万4,737円
民生費	30億669万2,939円
衛生費	6億6,200万8,145円
労働費	2,030万2,638円
農林水産業費	5億8,753万8,856円
商工費	8億4,002万3,669円
土木費	10億4,489万7,856円
消防費	3億8,921万8,623円
教育費	9億7,273万7,569円
災害復旧費	0
公債費	10億3,578万7,981円
諸支出金	58億7,821万8,088円
予備費	0
計	206億976万5,556円

## 特 別 会 計

### 坂東市外2か町公平委員会

歳入	106万4,404円
歳出	34万3,355円

### 国民健康保険事業

歳入	30億3,197万6,405円
歳出	30億581万8,723円

### 後期高齢者医療事業

歳入	4億5,490万8,716円
歳出	4億5,336万4,751円

### 介護保険事業

歳入	19億8,885万3,604円
歳出	18億6,535万4,402円

### 公共下水道事業

歳入	10億2,884万8,149円
歳出	10億1,889万8,009円

### 農業集落排水事業

歳入	2億3,323万7,579円
歳出	2億2,371万3,214円

### 水道事業

収益的支出	5億7,836万9,998円
資本的支出	8,392万7,802円

## 人事案件



境町大字大歩  
千葉等氏

新任



境町大字塚崎  
小野里光男氏

再任



古河市小堤  
山本隆行氏

再任

○人権擁護委員の推薦について議会の意見を求められ、適任と認められました。

○境町監査委員の選任について、議会の同意を求められ、即日原案同意されました。

## 補正予算関係

### 令和元年度境町各種会計補正予算

会 計		予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(議案第48号)		135億2,055万5,000円	10億6,423万9,000円	145億8,479万4,000円
一般会計(議案第56号)		145億8,479万4,000円	1,710万1,000円	146億189万5,000円
特 別 会 計	国民健康保険事業	29億8,599万2,000円	2,615万6,000円	30億1,214万8,000円
	介護保険事業	19億8,277万8,000円	1億2,428万2,000円	21億706万円
	公共下水道事業	10億7,548万4,000円	593万4,000円	10億8,141万8,000円
	農業集落排水事業	2億2,690万円	605万円	2億3,295万円

## 各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日	議決結果
報告第4号	平成30年度境町財政健全化判断比率の報告について	—	—
報告第5号	平成30年度境町公営企業資金不足比率の報告について	—	—
報告第6号	平成30年度境町継続費精算報告について	—	—
議案第41号	境町東京オリンピック・パラリンピック基金条例の制定について	令和元年9月12日	原案可決
議案第42号	境町森林環境譲与税基金条例の制定について	令和元年9月12日	原案可決
議案第43号	境町印鑑条例の一部を改正する条例案について	令和元年9月12日	原案可決
議案第44号	境町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案について	令和元年9月12日	原案可決
議案第45号	境町下水道条例の一部を改正する条例案について	令和元年9月12日	原案可決
議案第46号	境町水道事業給水条例の一部を改正する条例案について	令和元年9月12日	原案可決
議案第47号	境町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例案について	令和元年9月12日	原案可決
議案第53号	財産の取得について	令和元年9月5日	即日原案可決
議案第54号	事業契約の締結について	令和元年9月5日	即日原案可決
議案第55号	境町太陽光発電設備の適正な設置に関する条例の制定について	令和元年9月12日	即日原案可決
議案第57号	工事請負契約の締結について	令和元年9月12日	即日原案可決
発議第2号	境町議会決算特別委員会の設置について	令和元年9月5日	即日原案可決

## 陳情審議結果

陳情第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情について	令和元年9月12日	継続審査
-------	---	-----------	------

# 一般質問

## 1番 議席7番 渡邊 昇 議員

(1)2020年教育改革について

## 2番 議席5番 櫻井 実 議員

(1)防災・減災対策について

(2)中央公民館について

## 3番 議席10番 田山 文雄 議員

(1)認知症対策について

(2)所有者不明土地対策について

(3)消費税引き上げに伴う対応について

3人の議員が登壇しました

### 議席7番

渡邊 昇 議員



### 2020年教育改革について

**Q** 新学習指導要領の取組について。

**A** 来年4月から実施される教育改革は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、子供たちが自ら学びコミュニケーションを取りながら学習を深める内容となっている。小学校において外国語教育及びプログラミング教育が導入され、3・4年生では週1時間の英語授業を追加し、5・6年生では外国語として教科化され、週1時間から2時間に拡大される。プログラミング教育は、論理的思考力の育成を目的として導入され、各教科の中で進められる。

(教育長)

**Q** 学習内容及び年間の祝日等が増えている中で、今後十分な授業時間が確保できるのかお伺いしたい。

**A** 小・中学校における授業時数については、学習指導要領及び学校教育法施行規則に基づき、各学年における年間の授業時数が示されており、町内の各学校とも授業時数は十分確保されている。

### 議席5番

櫻井 実 議員

(教育長)



### 防災・減災対策について

**Q** 広域避難所の駐車場の確保について。

**A** 平成29年度に実施した住民アンケートの結果に基づき、本町の防災アドバイザーである東京大学大学院片田特任教授による「広域避難プロジェクト事業」により算出した基準では、自ら町外に避難

先を確保できない住民の方が約6,000名となっている。そのうち、移動手段がないために避難できない方が約2,300名いることから、この方々にはバス等で避難していただき、残りの3,700名の方々は、自家用車で広域避難所へ避難する対象者として見積もっている。

町外2か所の広域避難所の駐車可能台数は、既存の駐車場のほか緊急時にはグラウンドが使用でき、1台3m×5mの15㎡とした場合、坂東総合高校が26,069㎡で1,737台、総和工業高校が49,798㎡で3,319台の合計5,056台分の駐車が確保でき、自家用車で避難する対象者とされた見積台数以上の駐車が可能と算出している。

(理事兼防災安全課長)

### 中央公民館について

**Q** 境町中央公民館へのエレベーターの設置について。

**A** 2階部分は、昨年度延べ7,900名の方が利用しており、そのうち、70歳以上の方の利用が4



割を占めている。エレベーター設置の必要性は十分感じていることから、設置に向けて施設のどの場所に設置が可能か現在調査を進めている。  
(町長)

## 議席10番

田山 文雄 議員



### 認知症対策について

**Q** 認知症の早期診断や早期発見ができる体制づくりが重要であると思うが、当町の取組について。

**A** 後期高齢者医療制度への移行時に記入いただく調査票の結果を精査し、認知症を疑われる方には介護予防教室への参加を促している。9月は認知症を知る月間にあたることから、認知症に関する啓発を推進し、10月には新たなプログラムとして「認知症声かけ模擬訓練」を実施する予定である。  
(福祉部長)

**Q** 近年国際的な研究によって、

難聴と認知症との関連性が実証されており、予防の観点からも補聴器が必要であると思うが、購入費用の助成の考えについて。

**A** 医療機関からも、認知症患者における難聴は認知機能の増悪を促進する要因であり、補聴器装用が認知機能を改善したという報告もされている。町としては、社会参加等による認知症の予防を推進するとともに、補聴器購入に対する助成についても費用対効果を含め調査を進めていく。  
(福祉部長)



### 所有者不明土地対策について

**Q** 全国的にも所有者不明の土地が増えており社会問題にもなっているが、当町における現状と今後の取組について。

**A** 所有者不明の土地については、個人と法人分を合わせると34件84筆である。国で制度化された地域福利増進事業について、町としても調査・研究を進めていく。  
(総務部長)

### 消費税引き上げに伴う対応について

**Q** 消費税の引き上げに伴う対応として、様々な予算や税制措置が予定されているが、当町における周知の取組について。

**A** 国の負担軽減策の一つである「プレミアム付商品券発行事業」を実施し、要件を満たしている対象者にチラシ及び申請書を送付したところである。また、境町商工会が町の全額補助により2年連続で実施してきた「ふるさとクーポン券事業」についても同時に実施し、更なる消費喚起を図っていく。  
境町商工会では、軽減税率制度やキャッシュレス決済によるポイント還元事業の説明会時に、軽減税率対策補助金の活用を説明し周知を図っている。  
(秘書公室長)



### 夏休み期間中における議場の有効活用

今夏の猛暑対策、また、学生の皆さんに議会をより身近に感じていただくため、7月22日から8月23日までの夏休み期間に議場を自習室として開放いたしました。期間中は、延べ38名の中高生が自主学习に取り組みれておりました。



夏休み期間 中高生の自習室として議会議場を開放しました！

片山大臣表敬訪問並びに  
ホッケー場等視察研修

8月30日に、片山さつき内閣府特命担当大臣（当時）の表敬訪問及び、国会並びに大井ふ頭中央海浜公園内に完成した大井ホッケー競技場の視察を行いました。この大井ホッケー競技場は、2020東京オリンピックにおいて同競技の会場となっております。

境町においても、ホッケーコート整備を進めていることから、アルゼンチン共和国選手団の事前キャンプ誘致等について積極的に取り組んでまいります。



内閣府において片山大臣表敬訪問



国会及びホッケー場視察



「アイレットハウスカナナ館」落成式及び「S-Gallery（仮称）」並びに「第3弾PFI方式住宅」起工式

定住促進事業として町が進めているPFI方式住宅の第2弾「アイレットハウスカナナ館」の落成式が8月3日に挙行されました。

また、9月12日には「S-Gallery（仮称）」、17日には「第3弾PFI方式住宅」の起工式がそれぞれ挙行されました。議会といたしましても、当町における人口の社会増、また、街中の賑わい創出に繋げるため、町執行部と共に事業を推進してまいります。

PFI方式住宅落成式  
並びにS-Gallery（仮称）起工式



国道354号古河境間バイパス整備促進に向けた要望活動

国道354号古河境バイパス整備促進期成同盟会と国道354号古河境間整備促進県市町議員連盟では、9月26日に合同要望活動を実施いたしました。今回の活動では、川津 隆 茨城県議会議長並びに伊藤 高 茨城県土木部長へ国道354号古河境バイパスの整備促進に向けた要望書を提出いたしました。境町議会といたしましても、国道354号古河境バイパスの早期開通を目指し要望を継続してまいります。



◎広報編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 鈴木 英明 |
| 副委員長 | 相良 昌宏 |
| 委員   | 飯田 進  |
| 委員   | 青木 輝明 |